



## 学校だより 5月号

令和5年4月28日発行

ふるさとに学び ふるさとで遊び ふるさとを愛する子 ~ふれあいかがやき豊かな心~

## わくわくする気持ち

校長 杉山 波也



正門左手のフェンスに沿って、ツツジの花が鮮やかに所狭しと咲いています。校内の木々も葉が茂り、見上げるとやわらかな日差しを浴びてキラキラと光って見えます。校内の学年花壇の場所が決まり、これから子どもたちが種をまいたり、苗を植えたりする活動が始まります。どんな野菜や花が育つのか今からとても楽しみです。

先日、中休みに校庭で子どもたちと遊んでいたら、「校長先生、これ見て。」と後ろから少し興奮気味の明るい声が聞こえてきました。振り返ると、丸めたハンカチを握りしめていた | 年生の子がいました。「どうしたの。」と声をかけたら、「すごいものを見つけたんだよ。」と言って、私にハンカチの中を見せてくれました。丸まったハンカチの中には、白い貝殻のかけらが入っていました。「見つけたんだよ。」と教えてくれたので、「素敵な貝殻を見つけられてよかったね。大切にしないとね。」と声をかけました。するとその子は満面の笑みで「うん。」と言って、走っていきました。本来、砂浜などにあるはずの貝殻が学校の中にあった

ので、きっとその子は驚き、わくわくした気持ちでいっぱいだったことでしょう。その気持ちをだれかに伝えたくて、近くにいた私に話しに来てくれたのだと思います。

「学校の池の中にメダカがいるんだよ。」

「あっちに黄色いタンポポがさいているよ。」

「校長先生、来て、来て。アリがたくさんいるよ。」

など、この I か月の間に、たくさんの子たちが、「発見」したことを教えに 来てくれました。どの子も笑顔で話していたのが印象的でした。





新年度が始まったばかりですが、子どもたちは学校生活の中で、様々な「発見」や「気づき」があったようです。「なぜだろう。」「どうしてだろう。」という思いは、その後の活動をより豊かに活発にしていきます。教室での授業や生活はもとより、校外学習や出前授業、縦割り活動、学校行事など、様々な取組を通して、子どもたちの「わくわく」する気持ちを揺さぶっていけたらと思います。子どもたちの思いを大切にしながら、今年度も教育活動を進めていきます。皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。